

2015 年度活動その④

もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう、商船学校の歴史と船と海の話

12月12日実施

本年度最後の活動も天候に恵まれ、無事に予定通りに実施できました。
子供たちの参加者は40名を超える応募があったものの最終的には38名の参加となりました。
主催者ボランティアは合計で20名の参加でした。加えて鳥羽商船高専の先生・学生が休日にもかかわらず30名程度が体験活動等に協力してくれました。

朝10時に鳥羽商船高専に集合し、3つの講演と4つの体験活動を実施し、午後の3時半過ぎに解散となりました。

講演は

「女性航海士の話」

鳥羽商船高専准教授の小島さんが航海訓練所の帆船航海の体験も含め話をしてくれました。
船で働くのはかつては男性だけだったのですが、段々と女性が増えてきています。

「マリンエンジニアの話」

元客船日本丸機関長の長谷川さんが客船の機関士の話などをしてくれました。
エンジンの排気ガスで蒸気を発生させ省エネしていることも知りました。

「コンピューターの新しい楽しみ方」

鳥羽商船高専教授の江崎さんが新しくできたアプリの話をしてくれました。加えて、今話題のドローンを校庭で実際に飛ばしてドローンからの映像を見せてくれました。300mほど離れたポンツーンに接岸中の練習船鳥羽丸の様子が手に取るようにわかり、全員が興奮でした。

4つの体験活動については

「操船シュミレータの体験」

横浜港に入港する鳥羽丸という想定で、子供たちが交代で操船しました。視界不良となったり、荒天となったり、夜間航行もありました。子供たちは舵を取るのが精一杯で船の動きまでつかめないようでした。次の機会には前方がよく見えるように踏み台を用意しましょう。

「ディーゼルエンジンの起動と停止の体験」

子供たちがエンジンの起動準備、起動、出力調整、エンジン停止などの体験をしました。大きな音に驚いていたようです。

「賞を取ったアプリやロボットの操作体験」

大会で賞を取った「すなケッチ」等のアプリや輪投をするロボットの操作体験をしました。子供たちは輪投をするロボットにびっくりしたようです。

今回のイベントは鳥羽商船高専の「公開講座」にもなっていました。

以下に活動の様子を紹介します。

講演



女性航海士の話



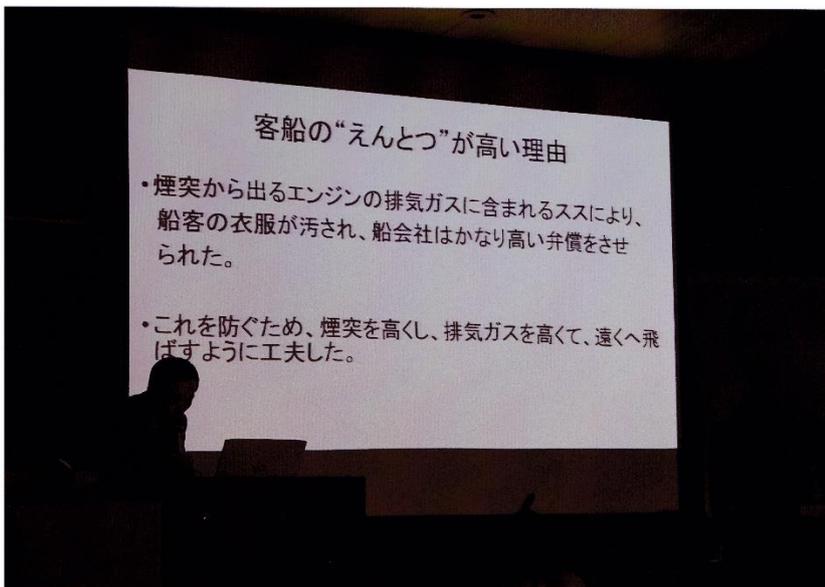
コンピューターの新しい楽しみ方



ドローンも飛んだ。



客船の機関長の話



何故客船のエントツは高い？

昼休み

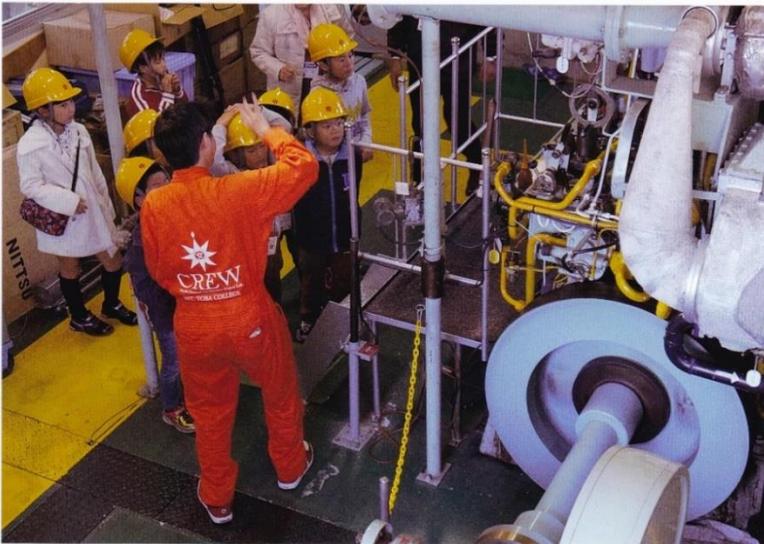


昼食後の楽しいビンゴゲーム



集合写真

体験活動



エンジン発停



遠隔操作体験



操船シュミレータ体験



ロボット体験



以上